



東京理科大学

維持会レター

第37号

vol.37 2023.1



学校法人 東京理科大学 理事長

浜本 隆之

新年あけましておめでとうございます。維持会会員の皆様におかれましては、日頃から本学の教育・研究に対し温かいご理解を賜り、誠にありがとうございます。

昨年、本学は2026年度までの中期計画を策定し、創立150周年、そしてその先へ続く未来に向けて新たなフェーズに入りました。今年は理工学部の学部・学科名称変更や先進工学部の新学科増設等も予定しています。その他、様々な施策の検討を行っており、「世界の未来を拓くTUS」を実現すべく、教職員が一丸となって着実に歩みを進めていく所存です。

長引くコロナ禍の影響や、それに続く世界情勢の変化に伴う急速な物価の上昇により、大学を取り巻く環境は厳しさを増すばかりですが、こういった予測困難な時代だからこそ、高度な理工系人材に対する社会のニーズはますます高まっています。とりわけ、本邦最大の理工系総合大学である本学の役割は重要ですが、本学の命とも言える研究活動、そして研究活動を通じた教育をしっかりと行っていくためには、老朽化したキャンパスの再構築や機器の更新を行い、教育研究環境を充実させていくことが欠かせません。

また、学生支援の一環として、新たな給付型奨学金を創設しています。「維持会奨学金」は学部学生約20人を対象としており、「寄付者の名前を付した奨学金」は、学部から博士課程の学生までを対象とし、寄付者が学生の所属学部・研究科等を指定して頂くことができます。こういった、学業意欲の高い学生のための奨学金の充実を図れればと考えています。

今後も理事会は、先人たちから受け継いだこの大学を守り、発展させることができるよう、全力で取り組んでまいります。維持会の皆様からの貴重なご厚志につきましても、教育、研究のため有効に活用させていただきますので、引き続きのご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

皆様にとって2023年が幸多き年となることを祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。



東京理科大学 維持会 会長

酒井 陽太

維持会会員の皆様 明けましておめでとうございます。

皆様には、日頃より維持会の活動にご理解、ご協力いただき感謝申し上げます。一昨年より始めました寄付者のお名前を冠した奨学金制度も順調に動き出しております。

さて、維持会は、明治18年に物理学校時代に維持同盟として発足しております。

教育に情熱をもった先生方が学校維持のために設立したもので、他の大学には見られない制度であります。

昨年の常任維持会においてもその経緯をもっと積極的に広報していても良いのではという意見がございました。

今、大学を取り巻く環境は少子化など大変厳しいものがあります。同時に社会からその役割に求められることも多大であります。世界の理科大として、昨年は「QS World University Rankings by Subject 2023」で2つの大分野と8つの小分野でランクインをしました。また、研究分野にとどまらず事業分野でも大学発のベンチャー企業数で全国7位（私学では2位）と研究成果を迅速に社会に還元する成果をあげてきております。

こうした成果も維持員皆様からのご寄付によるところ大であり、これからも「理学の普及をもって国運発展の基礎とする」建学の精神のもと有為の若者を社会に送り出す真の大学であり続け、さらに発展していくように維持会は大学に惜しみなく最大の協力をしていきます。

研究成果とともに、ノーベル生理学・医学賞を受賞された大村智先生が言われている「社会に役立つ仕事」をする実力ある人材の育成にも維持会が貢献できればと考えております。

今後とも皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

第 87 回 常任維持会報告

東京理科大学維持会は、学校法人東京理科大学の維持発展に寄与することを目的とした組織です。

維持会は、東京理科大学維持会会則にもとづき、常任維持会を設置し運営しております。常任維持会の構成員は、栄誉会員及び特別会員のうちから 15 名以内を、理事長が理事会の議を経て委嘱することになっており、2022 年 11 月現在 10 名の方が常任維持会員として委嘱されております。常任維持会は、年 2 回開催され、法人の募金計画及び募金活動に関する事、寄付者に関する事、寄付者に対する顕彰に関する事などを審議しております。



2022 年 11 月 11 日に開催された第 87 回常任維持会について、主な点を報告いたします。

1. 寄付金関係諸規程の改正について

寄付金募集の目的及び東京理科大学の役割、位置付けを明確にするため、改正を行うことについて審議し、検討した。

2. 維持会会員承認について

2022 年 4 月 1 日から 2022 年 9 月 30 日の間に寄付された新規会員 33 名と追加寄付 536 件について報告があった。

3. 顕彰者について

栄誉会員 C に 1 名、栄誉会員 D に 1 名、栄誉会員 E に 2 名及び特別会員に 4 名が昇格したことの報告があった。

- 栄誉会員 C : 故 矢田 真城 様 (矢田 宰子 様)
平成 30 年工学研究科博士課程修了
- 栄誉会員 D : 大村 智 様 昭和 38 年理学研究科修士課程修了
- 栄誉会員 E : 関 智弘 様 ご遺族からの寄付
下芝 悟 様 昭和 24 年数学科卒
- 特別会員 : 細川 斉子 様 ご遺族からの寄付
守屋 茂 様 昭和 47 年理学部第一部応用数学科卒
法専 俊治 様 昭和 19 年数学科卒
藤阪 知之 様 昭和 41 年理学部第一部応用数学科卒

【常任維持会】

会 長 酒井 陽太
副会長 岡本 公爾 加藤 和詳
会 員 秋山 仁 岡村 総一郎 坂本 功 望月 圭一郎
本山 和夫 山田 義幸 吉本 成香

(任期：2020 年 12 月 28 日から 2024 年 12 月 27 日まで)

【維持拡充資金(第二期) 寄付額】

(2022年4月1日～2022年9月30日)

個	人	149,275,000円			
団	体	2,734,990円			
(1,040,000円は個人の累計に参入します。)					
こ	う	よ	う	会	19,426,000円
法	人	1,100,000円			
合	計	172,535,990円			

**維持拡充資金(第二期) について
(2021年度分報告)****【2021年度 維持拡充資金(第二期) 寄付総額】**

(2021年4月1日～2022年3月31日)

個	人	104,505,000円			
団	体	3,809,000円			
こ	う	よ	う	会	750,000円
法	人	140,969,740円			
合	計	250,033,740円			

—訃報—

栄誉会員 諏訪部 喜義 様 (すわべ きよし = 95歳)

令和4年10月16日ご逝去されました。昭和24年応用化学科卒。昭和58年から常任維持会員、維持会会長、維持会顧問として維持会の運営に関わり、募金活動の推進にご尽力いただきました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

維持拡充資金（第二期）冠奨学金支援に関するご寄付のお願い

東京理科大学はその前身である東京物理学校の創立（明治 14 年）以来、140 年に亘り“ 理学の普及をもって国運発展の基礎とする ” という建学の精神に基づき、建学時からの伝統である実力を備えた学生のみを卒業させるという実力主義を受け継いできました。大学を取り巻く社会的環境が厳しさを増す状況下でも、この建学の精神に基づく教育研究活動を着実に発展させ、実力を有する多くの人材を、日本の教育界や産業界、研究機関に輩出し、社会に貢献してきました。

さて維持拡充資金（第二期）は、2006 年の創立 125 周年以降の募金窓口として、奨学金や教育研究資金、施設設備拡充資金、課外活動施設拡充資金の募集を実施してきました。また昨年度からは新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、学生が、家計の急変やアルバイト収入の減少等の経済的な理由で学業の継続を断念することがないように、コロナ支援（家計急変学生支援）の募集を開始し、「東京理科大学家計急変支援金」（給付型奨学金）による学生の支援を行っております。

今般、このような支援に加え、おもに学業意欲の高い成績上位者を対象に、次の 2 種類の給付型冠奨学金を新たに創設することにいたしました。大変厳しい経済状況の中、誠に恐縮に存じますが、本趣旨にご賛同いただき、引き続き皆さまからの力強いご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

冠 奨 学 金 の 種 類		
	① 維持会奨学金	② 寄付者の名前を付した奨学金 (例：理大太郎奨学金)
原 資	維持拡充資金（第二期）	維持拡充資金（第二期）のうち、一括して 1 口 300 万円を 1 口以上寄付され、用途を「冠奨学金」に指定された方の寄付金
給付額／1 人	25 万円	1 口当たり 30 万円
人数／年	約 40 人	1 口当たり 1 人（給付期間 10 年）
備 考	給付対象は学部学生等とします。	給付対象学生の学部、研究科等をご指定いただけます。（学科、専攻までご指定可能です。）

【寄付金の募集・受入開始】 2021 年 10 月 1 日（奨学金の給付開始は 2022 年度）

【募集対象】 同窓生、教職員、篤志家

【申込方法】 ホームページ (<https://www.tus.ac.jp/donation/internet/>)

【寄付の方法】 クレジットカード、ネットバンキング、銀行振込

【給付の審査基準】 学業意欲の高い成績上位者

【税制上の優遇措置】 本法人に対するご寄付は、税制上の優遇措置を受けることができます。

【領収書】 寄付金の領収書を発行させていただきます。確定申告にご使用ください。

【寄付者の顕彰】 寄付者様の同意のもと、学報等の芳名録にて掲載させていただきます。



【お問い合わせ先】 東京理科大学 募金事業事務室
〒 162-8601 東京都新宿区神楽坂 1-3
TEL : 03-5228-8723 (ダイヤルイン)

維持拡充資金（第二期）冠奨学金支援の状況報告

2022年10月より冠奨学金の募集を開始し、多くのご寄付を賜り、今年度より「渡辺一之奨学金」「関智弘奨学金」「大澤賢一奨学金」「白井康雄奨学金」「鶴志会奨学金」の学生への支給が開始しました。また、来年度からは更に「維持会奨学金」「フタムラ化学奨学金」「夜力奨学金」の学生への支給も開始いたします。皆さま方におかれましては、すでに多大なご協力をいただいているところですが、重ねてご支援を賜りたくよろしくお願いいたします。

オープンカレッジ無料受講の特典付与

2023年1月以降に一定金額以上のご寄付を賜った寄付者の方が、「東京理科大学オープンカレッジ」のオンライン講座を、一部無料で受講いただけるよう検討しています。無料受講の開始は2024年4月を検討しています。また、来年5月に送付します「寄付のお願い」においてもご案内予定です。

※2023年1月から12月までのご寄付を対象にします。

※受講開始時期等は変更になる場合があります。

「大村智記念展示室」オープン

2022年10月26日（水）、近代科学資料館に「大村智記念展示室」がオープンしました。

本展示室は、2015年にノーベル生理学・医学賞を受賞され、我が国の受賞者で唯一の私学出身者である大村 智特別栄誉博士の功績を顕彰する施設として開設いたします。高校で教鞭をとりながら本学大学院で学ばれた日々を紹介し、有機物の構造を決定する核磁気共鳴機器（NMR）の実機を展示しています。

どなたでも見学いただけますので、資料館ホームページよりご予約の上、ご見学ください。

